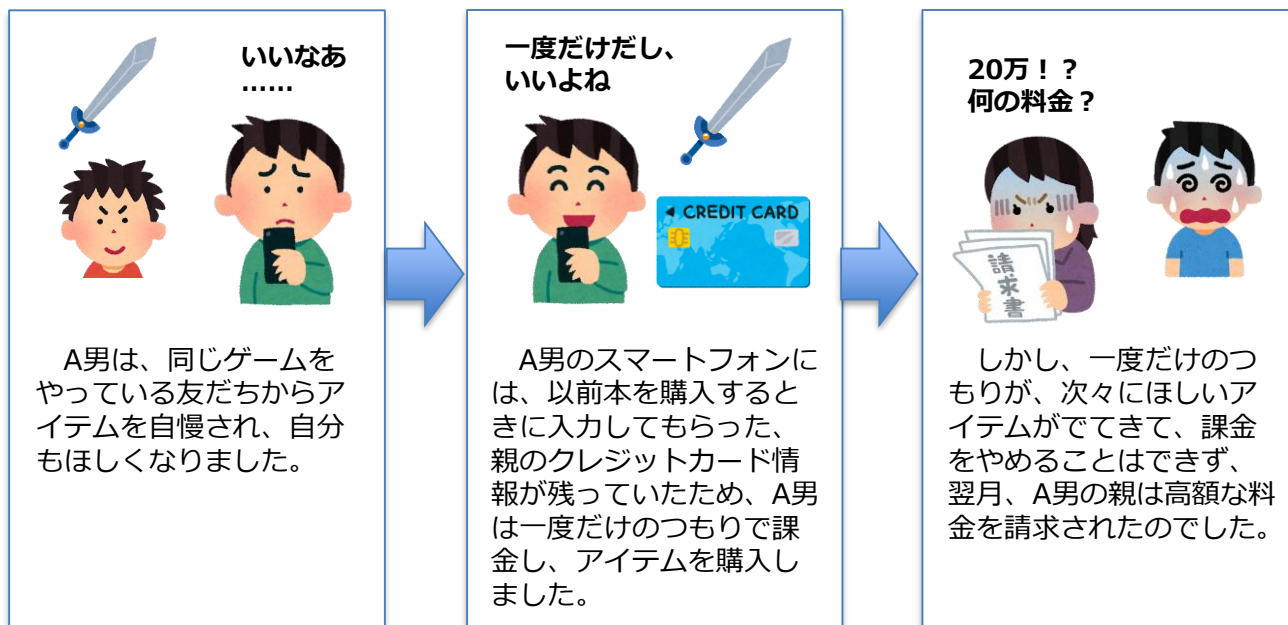


ゲームの課金に注意しましょう

ゲームの中で使えるアイテムなどを購入する「課金」のトラブルが、大きな問題となっています。

課金トラブルの例



クレジットカードなどを使った課金は、その場で現金を支払う必要がないため、お金を使っているという実感があまりなく、ついつい課金を重ねてしまい、多額のお金を使っていたということがよくあります。

また、ゲームによっては、登録時の年齢によって課金額の上限を設けていることがあります。しかし、上限のない保護者のスマートフォンなどを利用して、多額の金額を課金してしまったというケースもめずらしくありません。

このような使いすぎを防ぐために、課金に関するルールを保護者と考えて作ってみるのも有効です。

保護者の皆様へ

ゲームの課金は、お金を使っているという感覚があまりなく、気づくと高額になっていたということがあります。家庭で子どもと話し合って、下に紹介しているような家庭での課金に関するルールを作り、必ずそのルールを守るように声掛けをお願いします。

課金に関するルールの例

- ・課金をしないで遊ぶ。
- ・課金をするときは、保護者に相談する。
- ・1か月に〇〇円までと、課金の上限金額を決める。

我が家のルール（話し合って決めたことを書き、目立つ場所に貼るのじゃ。）

